

未来に輝く！ふくしまっ子プロモーション事業
特色のある幼児教育・保育の推進について

色彩を通じて育まれる感性

(活動報告書)



社会福祉法人 北中央福祉会 あゆみ保育園

色彩体験バスハイク (4.5歳児)

- ・ 自然豊かな福島市の「自然の色彩」を子ども達が体験しました。
- ・ 吾妻山の四季の変化を体験することで、色彩感覚を培えました。
- ・ 赤や黄色の落ち葉を見て「きれいだね」と目を輝かせていました。

秋の紅葉体験 吾妻山の紅葉



子どもたちの発見と驚き

- ・ なんで緑色、黄色、赤色の葉っぱがあるの？
- ・ 緑色の葉っぱでも、保育園に持って帰れば黄色くなるのかな？
- ・ あそこの木、葉っぱが一枚もなくて寒そうだね。
- ・ 風がふくと、葉っぱが落ちるんだね。
- ・ 落ち葉のプールみたいだね。
- ・ 茶色い葉を踏むと「ぱらぱら」になるんだね～不思議。
- ・ パパとママと一緒に見にきたいなあ。

外部講師による色彩体験教室

専門講師の指導により、色彩感覚が養えました

①色彩遊び（引っ掻き）～様々な色を使用して「引っ掻き絵遊び」を体験しました。



①引っ掻き絵

②色彩粘土遊び～色彩粘土を活用し、自由に作品作りを体験しました。



②色彩粘土遊び

③色彩表現～折り紙や廃材などを活用して、秋の色彩を表現しました。



③色彩表現・山の音楽家

④色彩表現～好きな色を使用して、自由画を描きました。



④色彩表現・自由画

外部講師による色彩体験教室

専門講師による、認知発達レベルに応じた、様々な色彩玩具遊びを体験しました。

色彩体験教室を通じて得られた経験



- ・ 沢山の色があることを学びました。
- ・ お気に入りの色を見つける事ができました。
- ・ 様々な色を通じて、表情が豊かになりました。
- ・ 色彩感覚と想像力、表現力が身に付きました。
- ・ 色に興味関心が持てました。

色彩玩具で楽しく遊ぶ、子どもたち

色彩と植物との関係

様々な食材を描きました

赤、黄、橙、緑、紫、桃色などの食材（植物）と色との関係性を学びながら、自由に描きました。

活動を通じて、おいしそうな「色」がある事や、色と食材の関係性、身近な自然と「色彩」との関係を理解しました。

子どもたちの発見と驚き

- ・ 赤い色の食べ物はおいしそうに見えるね！なんでだろう？
- ・ くだものは、おいしそうな色をしているね。
- ・ 緑色や白色のイチゴもあるんだよ。
- ・ 緑や黄色のトマトもあるんだよ。
- ・ バナナは何で黒くなるの？
- ・ 緑色のスイカを、割るとなんで赤色になるの？
- ・ カボチャはね、オバケにもなるんだよ。



ホオズキを描きました。



フォックスを描きました。

自然立体アート作品 ～ キビタン

みんなで、福島イメージキャラクター「キビタン」の立体アート作品を作りました。

子どもたち自身が考え、何度も何度も失敗を繰り返しながら「キビタン」を完成させました。

この活動を通じて、表現力と創造力そして色彩感覚を培わせました。

こどもたちの発見と驚き

- ・イチョウの葉っぱはね、緑色だったんだよ。
- ・なんで色が黄色に変わるんだろう・・・。
- ・赤やオレンジ色の「葉っぱ」もあるのかな？
- ・イチョウにはお花はないのかな？
黄色いのが、お花なのかな？
- ・お父さん葉っぱと赤ちゃん葉っぱがあるね。

イチョウの葉っぱで「キビタン」を作りました！

